

# 女性活躍推進フォーラム 第2回

## 感情を自己抑制する大切さ学ぶ

### 18社31人の女性社員がウェブ参加

#### 大熊美恵氏が実務講座

人材育成委員会が主催する第2回「女性活躍推進フォーラム」が11月13日にウェブ会議方式で開か

れ、ホール会員企業18社から女性正社員31人が参加した。

水野賢一副委員長から、ウェブ上で速やかな情報共有ができるツ

ールを用意し活用を勧めた他、今回から、早番でも参加しやすい時間帯を考慮し、開

始時間を1時間繰り上げた。実務講座などが報告された。

「成果をあげる」ことが大前提にあり、感情の自己コントロール能力を身につけることは、成果の9割を決定づけると明言した。その理由は、人間関係が良好になり、上司からの評価が良くなること、時間効率の向上、生きやすくなることは、デライト・コミュニケーションズ(株)のユニケーションズ(株)の大熊美恵氏が「成果につながるセル



女性活躍推進  
フォーラム  
特設サイト  
<http://www.nichiyukyo.or.jp/diversity/>



ール／感情のコントロールと印象管理」と題して、アングレーマネジメントに基づく講義を行った。

大熊氏は、企業が社

員に求めるものの1位が16年連続で「コミュニケーション力」であること、退職理由の主要項目にコミュニケーション不全が挙げられてることなどから、コミュニケーション力の高さが企業の利益につながることを説明した。

また、会社で仕事をすることは

「成果をあげる」ことが大前提にあり、感情の自己コントロール能力を身につけることは、成果の9割を決定づけると明言した。その理由は、人間関係が良好になり、上司からの評価が良くなること、時間効率の向上、生きやすくなることによって生産性やストレスが軽減、さらには充実度のアップにもつながるためだと述べ、頭の良さやスキルがあつても、自己コントロールができない人は成果に直結していかないとした。

中でも怒りや悲しみなどマイナス感情は自己コントロールが難しいが、「アンガーマネジメントは怒りを抑えることではない。怒る」と「怒らない」の間に「後悔」があり、後悔するかもしれないが重要なポイント。怒る必要があれば上手に怒り、怒らずに後悔しないなら怒らなくても良いことと認識する」と説明。そのための理論と具体的手段をグループディスカッショングも交えて学んだ。最後に大熊氏は「マイナス感情をコントロールして、成果につなげられるよう明日からの参考にしていただければ幸い」と述べ、講義を終了した。

#### 参加者 (順不同、敬称略、括弧略)

**Aグループ**=丸山良美(オータ)、葛西美香(新日邦)、内田有紀(新日邦)、岩沢聖美(日拓ホーム)、石森安加里(プローバ)、國吉亜紀乃(安田屋)

**Bグループ**=浮田麻衣(アブリイ)、岩上涼子(ダイナム)、佐々木明子(プローバ島根)、飯島佐織(メッセ)

**Cグループ**=木子紗耶加(玉屋)、山下夏恵(日拓ホーム)、湯川千夏(ピーアークホールディングス)、山田結理(平成観光)、加賀美由衣(メッセ)

**Dグループ**=谷川彩華(善都)、臼田唯(NEXUS)、佐々木姫奈(プローバ)、小林未来(平成観光)、竹田雅恵(マルハン)

**Eグループ**=望月知那(アブリイ)、水田月(ニラク)、勝実弥美(平成観光)、石松彩(マルハン)、北野瑞季(メッセ)

**Fグループ**=蛭田真希(サンキュー)、徳永成美(新富商事)、坂牧美穂(玉屋)、大松ひより(日拓ホーム)、熊谷裕美(プローバ島根)、渡邊美佳(安田屋)



来季の事業計画なども検討した人材育成委員会



参考：厚生労働省リリース  
「女性活躍推進法に基づく  
一般事業主行動計画を  
策定しましょう！」

<https://www.mhlw.go.jp/content/11900000/000614010.pdf>

第2回女性活躍推進フォーラム  
の開催に合わせ、委員会を開いた。  
今年度5回行う同フォーラムは、  
最終回（来年2月19日予定）にグル  
ープごとの企画を、参加者及び派  
遣担当者の前でプレゼンテーション  
することを一つのゴールに据え  
ている。しかしコロナ禍の影響が大きいため、  
通信環境に由来する動画、画像、音声のレベ  
ル確保の可能性を検討す

し、オンラインで  
行う方向性を固めた。今後は運用上の懸念事項などを洗い出し、2月までに詳細を練り上げていくこととした。

既存の人材育成フォーラム、女性活躍推進フォーラム、店長講習の3つの活動はその有効性から継続する。

女性活躍推進フ  
ォーラムは2015年の開始当初計  
画では今年が最終年度となるが、2021年4月から  
中小企業にも正社員と非正社員の格差を是正するため  
に設けられた制度「同一労働同一賃金」の適用や、女性活躍の法的拘束力の発効もあり、これらのテーマに対して日遊協の姿勢を示す

新規事業として、来年以降  
70歳の雇用延長も始まるため、シ  
ニアの活用についても取組み課題  
として検討することとした。

12月の行事予定		DECEMBER
2日 (木)	13:30~14:30	貯玉理事会(本部・WEB)
	16:00~17:00	ホール4団体会議(全日遊連遊技会館大会議室)
	17:00~19:00	東京都・関東支部役員会
3日 (木)	9:50~17:10	遊技機取扱主任者更新講習・試験(ベルサール神田)
	10:00~12:00	(仮)コンソーシアム新PT会議
4日 (金)	9:50~17:00	遊技機取扱主任者更新講習・試験(ベルサール秋葉原)
7日 (月)	9:50~17:00	遊技機取扱主任者更新講習・試験(臨時開催、ホテル名古屋ガーデンパレス)
	11:00~12:00	職員連絡会議(本部・WEB)
8日 (火)	13:30~14:30	リサイクル推進委員会
9日 (水)	9:00~11:00	(仮)コンソーシアム新PT会議
10日 (木)	16:00~17:30	遊技機委員会(本部・WEB)
11日 (金)	16:00~18:00	パチンコパチスロ依存問題防止研究会(本部・WEB)
14日 (月)	13:30~14:30	不正対策室会議(本部・WEB)
16日 (水)	13:00~14:30	広報調査委員会(本部・WEB)
17日 (木)	12:00~16:00	女性活躍推進フォーラム(本部・WEB)
	12:20~13:20	人材育成委員会(本部・WEB)
22日 (火)	15:00~17:00	近畿支部セキュリティー対策部会(大阪なんばカルチャービル)
23日 (水)	14:00~16:00	北海道遊技産業連絡協議会(正栄プロジェクト会議室)
	15:00~17:00	依存問題PT(本部・WEB)